

## 桜の郡山城と金魚田を訪ねる

4月例会（歴史クラブと共催）

日時：4月9日（火）10：00～15：00

ルート：永慶寺—郡山城—大納言塚—  
金魚資料館

参加者：26名

幹事：川井、井戸、寺田

4月9日（火）本年度初の例会である。天気は、うららかな絶好のお花見日和。



まずは黄檗宗・開基柳澤吉保公と旧郡山藩主柳澤家歴代の菩提寺である「永慶寺」で住職から、「お寺のいわ

れ」など小1時間お話を伺う。

隣接する「郡山城」は、桜の咲き具合を心配したが、白い桜が満開である。「柳澤神社」や「天守台の石垣」などを見学後「追手向櫓」の近くの広場で昼食。1時間の城内自由散策の後、川井さんから歴代城主にまつわる歴史秘話の興味深いお話をお聞きした。

午後は、城跡を出て、まず郡山100万石城主「豊臣秀長」の墓所である「大納言塚」を訪ねた。正面に立派な「五輪塔」があり、川井さんから五輪塔のいわれの説明があった。

この後本日のもう一つの目玉、金魚探索ルートである「金魚資料館」と金魚飼育のいけすを訪ねた。郡山の金魚は柳澤吉保の子“吉里”が、甲斐から国替わりの折にもたらした。現在、約60戸の養殖業者がおり、年間7000万匹（国内40%のシェア。金魚すくいの金魚は6000万匹）を養殖していることなど、金魚のことが良くわかり大変興味深かった。

15時に、近鉄郡山駅へ戻り解散。桜の郡山城と金魚養殖で、大和郡山を堪能した陽春の一日であった。  
(寺田 孝 記)

## アースデー2013 in なら

4月21日にならコープ主催の標記イベントが「国営飛鳥歴史公園 石舞台芝生広場」で行われ、私たちも協力依頼を受け、11名で『体験コーナー』に参加しました。

出し物は「竹笛」（村上さん担当）と「ブンブンゴマ」（安川さん担当）の自然工作。

心配した前夜からの雨も上がり、10時開始。

しばらくは子供の姿もまばら。呼び込みも行っていくうちに、ようやくお客さんが訪問するようになり、工作机が子供であふれて来ました。



寒さのために子供たちの手もかじかんでいるうえに接着剤の効き目も遅かったのですが、結構我慢して竹笛を作っていました。

ブンブンゴマを作るのは簡単ですが、いざ廻すととなると大変。親も一緒になってチャレンジ。何とか廻るようになってようやく「やった！」というどや顔。こちらもホッとします。工作後のフォローは本当に大事ですね。

今回は子供だけではなく若いカップルや年配者達もかなり参加してくれたことや、他の多くの物品販売ブースに対抗して『無料工作ですよ！』というビラを吊るしたりなどと、少し面白い展示でした。



主催者側によると、曇天の上に寒い風がかなり強く吹き付けたせいかこのイベントへの参加者は約800

名と予想より少し少なかったという事でした。それでも、午後3時の終了時間までに、「竹笛」も「ブンブンゴマ」も約100個ずつなくなり、スタッフにとっては適度な作業ペースでした。  
(森 英雄 記)